

令和7年度男女共同参画に関する意識・実態調査の実施について

1 調査目的

男女平等の視点から埼玉県における男女共同参画に関する県民意識と生活実態について把握し、今後の施策展開を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の実施概要

- (1) 調査対象 県内在住の満18歳以上の男女
- (2) 標本数 5,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用
- (5) 調査時期 令和7年9月(4週間程度)

※業務委託により実施

3 調査内容(予定)

- ・男女平等に関する意識 (5問程度)
- ・家庭生活について (5問程度)
- ・就業について (6問程度)
- ・社会参加について (4問程度)
- ・男女間における暴力について (20問程度)
- ・男女共同参画の推進に関する施策について (5問程度)
- ・困難な問題を抱える女性の支援について (20問程度)

※調査結果の経年変化を見るため、原則、前回(令和2年度)の調査項目を踏襲しつつ、次期DV防止基本計画及び次期困難な問題を抱える女性支援基本計画の策定並びに社会情勢の変化を踏まえ、設問を検討する。

男女共同参画に関する意識・実態調査

本県の男女共同参画施策の参考とするため、この調査を実施するにあたり、県内にお住まいの18歳以上の方々の中から、5,000人を無作為に選ばせていただいたところ、あなた様にご意見をお伺いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

- お答えいただいた内容は、行政上の基礎資料として活用することを目的としておりますので、他の目的に利用することはありません。
- この調査では、あなたのお名前やご住所をお答えいただく必要はありません。
- 調査の結果は、統計的に処理し公表いたしますが、お答えいただいた方の個人名や回答内容など、個々のお答えの内容やみなさまの個人情報公表されることはありません。

令和2年9月

ご記入にあたってのお願い

- ① 回答は郵送又はインターネットホームページからのどちらかでもお願いいたします。
インターネットでの回答については、別紙「インターネットでの回答方法」をご覧ください。
インターネットでの回答にあたっては、右記のID、パスワードの入力が必要となります。
 - ② ご記入は、あて名のご本人をお願いいたします。
 - ③ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数（あてはまるものすべて）回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。
 - ④ お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
 - ⑤ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

(インターネット回答用)

ID :

パスワード :

(回答例)



9月30日（水）までに投函してください。

(お名前やご住所の記入は不要です)

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

【調査実施主体】埼玉県県民生活部 男女共同参画課 担当：嶋田、高橋、都築

電話：048-830-2925 又は 048-830-2921 (直通)

FAX：048-830-4755 E-mail：a2920-01@pref.saitama.lg.jp

【調査委託機関】株式会社マーケティングリサーチサービス

(東京都豊島区南大塚2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル)

男女平等に関する意識についてお伺いします

問1 あなたは、現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の(1)～(8)のそれぞれについてあなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	いる 平等になっ て	いない 平等になっ て	どちらとも いえない	わからない
(1) 家庭生活で	1	2	3	4
(2) 学校教育の場で	1	2	3	4
(3) 職場で	1	2	3	4
(4) 政治の場で	1	2	3	4
(5) 自治会等の地域活動の場で	1	2	3	4
(6) 社会通念や風潮(習慣・しきたり)などで	1	2	3	4
(7) 法律や制度の上で	1	2	3	4
(8) 社会全体の中で	1	2	3	4

問2 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考えに同感しますか。(1つだけに○)

1 同感する	→ 問2-1 へ	3 どちらともいえない
2 同感しない	→ 問2-2 へ	4 わからない

【問2で、「1 同感する」と回答した方に】

問2-1 同感する理由を教えてください。(1つだけに○)

1 日本の伝統・美德だと思うから 2 性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから 3 子どもの成長にとって良いと思うから 4 個人的にそうありたいと思うから 5 その他() 6 理由を考えたことはない

【問2で、「2 同感しない」と回答した方に】

問2-2 同感しない理由を教えてください。(1つだけに○)

1 男女平等に反すると思うから 2 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから 3 男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから 4 少子高齢化により労働力が減少し、女性も仕事をする必要があると思うから 5 一方的な考え方を押しつけるのは良くないと思うから 6 その他() 7 理由を考えたことはない

【すべての方にうかがいます】

問3 以下の各メディアにおける性の表現について、あなたはどのように考えますか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

縦方向にご回答ください	テレビ・映画	新聞・雑誌	インターネット
	(1) 性別による固定的な役割分担を助長する表現が目立つ	1	1
(2) 女性(男性)の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	2	2	2
(3) 性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	3	3	3
(4) 女性(男性)に対する暴力・犯罪を助長するおそれがある	4	4	4
(5) そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	5	5	5
(6) その他()	6	6	6
(7) 特に問題はない	7	7	7

家庭生活・子育てについてお伺いします

問4 あなたの家庭では、次の(1)～(8)のことについて、主に男性、女性のどちらが行なっていますか。

(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	主として男性が行っている	共同して分担している	主として女性が行っている	その他	該当しない
	(1) 家事(炊事・洗濯・掃除など)	1	2	3	4
(2) 子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4	5
(3) 介護(介護の必要な親の世話、病人の介護など)	1	2	3	4	5
(4) 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
(5) 自治会、PTA活動	1	2	3	4	5
(6) 生活費の確保	1	2	3	4	5
(7) 家計の管理	1	2	3	4	5
(8) 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4	5

問5 次の(1)～(8)のことについて、主に男性、女性のどちらが担う方がよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	男性がすべき	共同して分担すべき	女性がすべき	その他
	1	2	3	4
(1) 家事(炊事・洗濯・掃除など)	1	2	3	4
(2) 子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4
(3) 介護(介護の必要な親の世話、病人の介護など)	1	2	3	4
(4) 地域の行事への参加	1	2	3	4
(5) 自治会、PTA 活動	1	2	3	4
(6) 生活費の確保	1	2	3	4
(7) 家計の管理	1	2	3	4
(8) 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4

問6 家庭生活(家事・子育て・介護)の考え方について、あなたは「現実」では何を優先していますか。また、「希望」では何を優先したいですか。(それぞれ1つずつに○)

【現実】

- 1 仕事や趣味・ボランティアなどの自分の活動に専念
- 2 どちらかといえば、家庭生活より仕事や自分の活動を優先
- 3 仕事や自分の活動と家庭生活を同時に重視
- 4 どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先
- 5 家庭生活(家事・子育て・介護)に専念

【希望】

- 1 仕事や趣味・ボランティアなどの自分の活動に専念
- 2 どちらかといえば、家庭生活より仕事や自分の活動を優先
- 3 仕事や自分の活動と家庭生活を同時に重視
- 4 どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先
- 5 家庭生活(家事・子育て・介護)に専念

【子育て経験のある方にうかがいます】(子育て経験のない方は、問8へ)

問7 あなたと配偶者・パートナーの子育てのかかわりは十分だと思いますか。

(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	十分である(あった)	ある程度は十分である(あった)	あまり十分ではない(なかった)	十分ではない(なかった)
	1	2	3	4
(1) あなた	1	2	3	4
(2) 配偶者・パートナー	1	2	3	4

問8へ

問7-1へ

【問7で、「3 あまり十分ではない(なかった)」または「4 十分ではない(なかった)」と回答した方にうかがいます】

問7-1 かかわりが十分でない(なかった)のは何が原因であると思いますか。

(それぞれ1つずつに〇)

【あなた】

- 1 仕事が忙しすぎる(忙しすぎた)ため
- 2 育児休業制度が不十分または利用しにくい(利用しにくかった)ため
- 3 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にする(大切にしたい)ため
- 4 子どもことや家庭のことにあまり関心がない(なかった)ため
- 5 子ども世話が面倒だと考えている(考えていた)ため
- 6 子育ての大変さを理解していない(いなかった)ため
- 7 子どもとどのように接したらよいかわからない(わからなかった)ため
- 8 子育てに関する知識や情報が乏しい(乏しかった)ため
- 9 その他()

【配偶者・パートナー】

- 1 仕事が忙しすぎる(忙しすぎた)ため
- 2 育児休業制度が不十分または利用しにくい(利用しにくかった)ため
- 3 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にする(大切にしたい)ため
- 4 子どもことや家庭のことにあまり関心がない(なかった)ため
- 5 子ども世話が面倒だと考えている(考えていた)ため
- 6 子育ての大変さを理解していない(いなかった)ため
- 7 子どもとどのように接したらよいかわからない(わからなかった)ため
- 8 子育てに関する知識や情報が乏しい(乏しかった)ため
- 9 その他()

男女の就業・仕事についてお伺いします

【すべての方にうかがいます】

問8 あなたは、女性の働き方について、「理想」はどうあるべきだと思いますか。

また、あなた自身について(男性の場合は配偶者・パートナーについて)、「現実」にはどうですか。(どうでしたか) ※結婚には事実婚を含みます。(それぞれ1つずつに〇)

【理想】

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事をもつ
- 5 子どもができるまでは仕事もち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
- 6 結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念する
- 7 仕事はもたない
- 8 その他()
- 9 わからない

【現実】

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている（いた）
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている（いた）
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事をもっている（いた）
- 5 子どもができるまでは仕事もち、子どもができたなら家事や子育てに専念している（いた）
- 6 結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念している（いた）
- 7 仕事はもっていない
- 8 その他（ ）

【就労経験のある方にうかがいます】（就労経験のない方は、問10-1へ）

問9 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなことがありますか（ありましたか）。（あてはまるものすべてに○）

- 1 賃金に男女差がある
- 2 男性に比べて女性の採用が少ない
- 3 昇進、昇給に男女差がある
- 4 能力を正當に評価しない
- 5 配置場所が限られている
- 6 補助的な仕事しか任されていない
- 7 企画会議などの意思決定の場に女性が参加できない傾向がある
- 8 女性を幹部職員に登用しない
- 9 有給休暇や育児・介護休業が取得しにくい
- 10 在宅勤務や短時間勤務等が認められない
- 11 結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある
- 12 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
- 13 教育・研修を受ける機会が少ない
- 14 その他（ ）
- 15 特にない

【すべての方にうかがいます】

問10-1 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどのように思いますか。（それぞれ1つずつに○）

横方向にご回答ください	積極的に 取得した方がよい	どちらかといえば 取得した方がよい	どちらかといえば 取得しない方がよい	取得しない方がよい	わからない
(1) 育児休業	1	2	3	4	5
(2) 介護休業	1	2	3	4	5

問10-2 この制度に関連してあなたの状況を教えてください。（それぞれ1つずつに○）

活用機会の有無	機会有る方						機会のない方	
	自身が取得した経験がある（連続1月以上）	自身が取得した経験がある（連続1月未満）	機会があり必要性を感じたが取得できなかった	機会はあったが取得の必要性を感じなかった	取得した経験がある配偶者・パートナーが自身は取得していないが	制度を知らなかった又は制度ができる前に機会があった	機会があれば取得しようと思う	機会があっても取得するつもりはない
取得の状況								
(1) 育児休業	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 介護休業	1	2	3	4	5	6	7	8

問11 あなたは、女性が結婚後、出産後も退職せずに働き続けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の（1）～（8）のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つずつに○）

横方向にご回答ください	とても重要	重要	あまり重要でない	まったく重要でない
(1) 配偶者・パートナー（男性）の理解や家事・育児などへの参加	1	2	3	4
(2) 配偶者・パートナー（男性）以外の家族の理解や家事・育児などへの参加	1	2	3	4
(3) 保育施設や学童保育の充実	1	2	3	4
(4) 福祉施設やホームヘルパーの充実	1	2	3	4
(5) 労働時間の短縮、在宅勤務やフレックスタイム等の制度の導入・充実	1	2	3	4
(6) 企業経営者や職場の理解	1	2	3	4
(7) 育児・介護休業などの休業制度の充実	1	2	3	4
(8) 昇進・昇給などの職場での男女平等の確保	1	2	3	4

問12 あなたは、女性が結婚や出産のために退職し、その後再就職するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の（1）～（7）のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つずつに○）

横方向にご回答ください	とても重要	重要	あまり重要でない	まったく重要でない
(1) 家族の理解や家事・育児などへの参加	1	2	3	4
(2) 子どもや介護を必要とする人などを預かってくれる施設の充実	1	2	3	4
(3) 就職情報や職業紹介などの相談機関の充実	1	2	3	4
(4) 技能習得のための職業訓練の充実	1	2	3	4
(5) 企業経営者や職場の理解	1	2	3	4

横方向にご回答ください	とても重要	重要	あまり重要でない	まったく重要でない
(6) 企業等が再就職を希望する人を雇用する制度の充実	1	2	3	4
(7) 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度の導入や介護休業などの制度の充実	1	2	3	4

問13 あなたは、男女が共に仕事と家庭の両立をしていくために、どのような条件が必要だと思いますか。 (3つまでに○)

- 1 給与等の男女間格差をなくすこと
- 2 年間労働時間を短縮すること
- 3 代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること
- 4 育児や介護のために退職した職員をもとの会社で再雇用する制度を導入すること
- 5 育児休業・介護休業中の給付を充実すること
- 6 地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること
- 7 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
- 8 職業上、必要な知識・技術等の職業訓練を充実すること
- 9 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること
- 10 男性が家事や育児を行うことに対し、職場や周囲の理解と協力があること
- 11 男性が家事や育児を行う能力・機会を高めること
- 12 その他 ()
- 13 わからない

男女の社会参画についてお伺いします

問14 あなたは、地方自治体（県や市町村）などの施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。 (1つだけに○)

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 十分反映されている 2 ある程度反映されている | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 3 あまり反映されていない 4 ほとんど反映されていない </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 どちらともいえない |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- **問14-1**へ

【問14で、「3 あまり反映されていない」 または 「4 ほとんど反映されていない」と回答した方に】

問14-1 反映されていない理由は何だと思いませんか。 (3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 女性議員が少ない 2 行政機関の管理職に女性が少ない 3 審議会や委員会に女性が少ない 4 自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない 5 女性自身の意欲や責任感が乏しい | <ol style="list-style-type: none"> 6 女性自身が消極的 7 男性の意識、理解が足りない 8 社会のしくみが女性に不利 9 女性の能力に対する偏見がある 10 その他 () |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【すべての方にかがいます】

問15 あなたは、今後どのような分野で、特に女性の参画が進むべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 国会・県議会・市町村議会等の議員	7 建設業などの女性の少ない職場
2 国の省庁、県庁、市町村の役所等	8 理工系などの女性の少ない分野の学生
3 弁護士、医師などの専門職	9 大学、研究所などの研究者
4 自治会、PTAなどの役員	10 農林業団体などの役職
5 企業の管理職、労働組合の幹部	11 その他
6 国連などの国際機関	()

問16 「男女の不平等を是正するため、女性があまり進出していない分野で一時的に女性の優先枠を設けるなどして、男女の実質的な機会の均等を確保すべきである」(＝ポジティブアクション)という考え方について、あなたはどのように思いますか。(1つだけに○)

1 賛成する	4 どちらかといえば反対する
2 どちらかといえば賛成する	5 反対する
3 どちらともいえない	

男女間における暴力についてお伺いします

問17 あなたは、次の(1)～(14)のようなことが夫婦(事実婚や別居中を含む)の間で行われた場合、それをどのように感じますか。

あなたの考えに近いものを選んでください。

(それぞれ1つずつに○)

 横方向にご回答ください	暴力にあたる どんな場合でも	ある そうでない場合も	暴力にあたる場合も 思わない
(1) 骨折させる	1	2	3
(2) 打ち身や切り傷などのケガをさせる	1	2	3
(3) 身体を傷つける可能性のある物でなく、突き飛ばしたり壁にたたきつけたりする	1	2	3
(4) 平手でぶつ、足でける	1	2	3
(5) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
(6) なぐるふりをして、おどす	1	2	3
(7) 物を投げつける、ドアをけったり壁に物を投げて、おどす	1	2	3
(8) 大声でどなる、「役立たず」とか、「能なし」などと言う	1	2	3
(9) 持ち物や大切にしている物をこわす	1	2	3
(10) 何を言っても、長期間無視し続ける	1	2	3

横方向にご回答ください	どんな場合でも 暴力にあたる	ある 暴力にあたる場合も そうでない場合も	暴力にあたることは 思わない
(11) 交友関係、電話、メール、郵便物を細かく監視する	1	2	3
(12) いやがるのに性的な行為を強要する	1	2	3
(13) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
(14) 必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる	1	2	3

【問18から問19-9は、配偶者がいる方、または過去に配偶者がいた方にうかがいます】
(該当されない場合は問20へ)

ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）も含まれます。

問18 あなたはこれまでに、あなたの配偶者に対して（1）～（14）のような行為をしたことがありますか。
(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	1、2度あった	何度もあった	まったくない
(1) 骨折させる	1	2	3
(2) 打ち身や切り傷などのケガをさせる	1	2	3
(3) 身体を傷つける可能性のある物でなぐる、突き飛ばしたり壁にたたきつけたりする	1	2	3
(4) 平手でぶつ、足でける	1	2	3
(5) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
(6) なぐるふりをして、おどす	1	2	3
(7) 物を投げつける、ドアをけったり壁に物を投げて、おどす	1	2	3
(8) 大声でどなる、「役立たず」とか、「能なし」などと言う	1	2	3
(9) 持ち物や大切にしている物をこわす	1	2	3
(10) 何を言っても、長期間無視し続ける	1	2	3
(11) 交友関係、電話、メール、郵便物を細かく監視する	1	2	3
(12) いやがるのに性的な行為を強要する	1	2	3
(13) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
(14) 必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる	1	2	3

問18-1へ

すべて3
の場合は
問19へ

【問18で、「1、2度あった」または「何度もあった」に1つでも回答した方に】

問18-1 あなたがそのような行為をするに至ったきっかけは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1	相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとした
2	いろいろながつり、ある出来事がきっかけで感情が爆発した
3	相手がそうされても仕方がないようなことをした
4	相手が自分に危害を加えてきたので、身を守ろうと思った
5	親しい関係ではこうしたことは当然である
6	その他 ()
7	覚えていない
8	特に理由はない

問19 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から(1)～(4)のような行為をされたことがありますか。
(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	1、2度あった	何度もあった	まったくない
	(1) 身体的暴行(例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2
(2) 心理的攻撃(例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3
(3) 性的強要(例えば、いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3
(4) 経済的圧迫(例えば、生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	1	2	3

問19-1へ
すべて3の場合は問20へ

【問19で、「1、2度あった」または「何度もあった」に1つでも回答した方に】

問19-1 あなたが、その相手の行為を受けたのはいつごろですか。

(それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	この1年 にあった	それ以前 にあった
	(1) 身体的暴行(例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1
(2) 心理的攻撃(例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2
(3) 性的強要(例えば、いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2
(4) 経済的圧迫(例えば、生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	1	2

問19-2 あなたはこれまでに、その相手の行為によって、命の危険を感じたことはありますか。(1つだけに○)

1 感じたことがある	2 感じたことはない
------------	------------

問19-3 あなたは、その相手の行為を受けたとき、どうしましたか。(1つだけに○)

1 相手と別れた
2 別れたい(別れよう)と思ったが、別れなかった
3 別れたい(別れよう)とは思わなかった

問19-4 あなたはこれまでに、その相手の行為によって、ケガをしたり、医師の治療を受けたことがありますか。(1つだけに○)

1 ケガをして医師の治療を受けた
2 ケガをして医師の治療が必要となる程度であったが、治療は受けなかった
3 ケガをしたが、医師の治療が必要にならない程度であった
4 ケガはしなかった

問19-5 あなたが、その行為を受けた時に、あなたのお子さんはそれを目撃しましたか。(1つだけに○)

1 目撃していた	3 目撃していない
2 目撃していたかどうかはわからない	4 子どもはいない

問19-6 あなたのお子さんは、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。 (あてはまるものすべてに○)

- 1 なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど身体に対する行為
- 2 大声でどなる、無視する、目の前で家族に対して暴力をふるうなど心理的な虐待となる行為
- 3 わいせつなものや性交を見せつける、性的な行為を強要するなどの行為
- 4 食事を与えない、病気になっても病院に受診させないなどの行為
- 5 わからない
- 6 まったくない

問19-7 あなたは、相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。 (1つだけに○)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 相談した | → 問19-8 へ |
| 2 相談できなかった | → 問19-9 へ |
| 3 相談しようとは思わなかった | |

【問19-7で、「1 相談した」と回答した方に】

問19-8 あなたが、相談した人(場所)を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1 家族・親せき | 7 男女共同参画推進センター・女性センター |
| 2 友人・知人 | 8 弁護士 |
| 3 警察 | 9 医師・カウンセラー |
| 4 人権擁護委員 | 10 民間の相談機関 |
| 5 役所の相談窓口・電話相談など | 11 その他 |
| 6 配偶者暴力相談支援センター・
婦人相談センター | () |

【問19-7で、「2 相談できなかった」または「3 相談しようとは思わなかった」と回答した方に】

問19-9 あなたが、誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 誰(どこ)に相談してよいのかわからなかった
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかった
- 3 相談しても無駄だと思った
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力をうけると思った
- 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思った
- 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った
- 7 世間体が悪い
- 8 他人を巻き込みたくない
- 9 思い出したくない
- 10 自分に悪いところがあると思った
- 11 相談するほどのことではないと思った
- 12 その他 ()

【すべての方にうかがいます】

問20 あなたはこれまでに、ある特定の異性から、執拗なつきまといや待ち伏せ、面会・交際の要求、無言電話や連続した電話・メールなどの被害にあったことがありますか。

(1つだけに○)

1 1人からあった	→ 問20-1 へ
2 2人以上からあった	
3 まったくない	→ 問21 へ

【問20で、「1 1人からあった」または「2 2人以上からあった」と回答した方に】

問20-1 あなたは、その被害によって、命の危険を感じたことがありますか。

(1つだけに○)

1 感じたことがある	2 感じたことはない
------------	------------

【問21は、あなたの交際相手からの暴力の被害経験についてうかがいます。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。】

問21 あなたには、これまでに交際相手がありましたか。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。

(1つだけに○)

1 交際相手があった (いる)	2 交際相手はいなかった (いない)
↳ 問21-1 へ	↳ 問22 へ

【問21で、「1 交際相手があった (いる)」と回答した方に】

問21-1 あなたは、これまでに交際相手から (1) ~ (4) のような行為をされたことがありますか。 (それぞれ1つずつに○)

横方向にご回答ください	あ	あ	な
	この1年に	それ以前に	なかった
(1) 身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3
(2) 心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3
(3) 性的強要 (例えば、いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3
(4) 経済的圧迫 (例えば、生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	1	2	3

問21-2 へ

すべて3の場合は問22 へ

【問21-1で、「1 この1年に」「2 それ以前に」に1つでも回答した方に】

問21-2 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1 家族・親せき	8 男女共同参画推進センター・女性センター
2 友人・知人	9 弁護士
3 学校の教員・養護教員・スクール カウンセラー	10 医師・カウンセラー
4 警察	11 民間の相談機関
5 人権擁護委員	12 その他 ()
6 役所の相談窓口・電話相談など	13 誰（どこ）にも相談しなかった
7 配偶者暴力相談支援センター・ 婦人相談センター	↳ 問21-3 へ

【問21-2で、「13 誰（どこ）にも相談しなかった」と回答した方に】

問21-3 あなたが、誰（どこ）にも相談できなかったのはなぜですか。

（あてはまるものすべてに○）

1 誰（どこ）に相談してよいのかわからなかった
2 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3 相談しても無駄だと思った
4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力をうけると思った
5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思った
6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った
7 世間体が悪い
8 他人を巻き込みたくない
9 思い出したくないから
10 自分に悪いところがあると思った
11 相談するほどのことではないと思った
12 その他 ()

【すべての方にかがいます】

問22 次のような行為（不愉快な行為）について、あなたの経験を教えてください。

（それぞれあてはまるものすべてに○）

縦方向に ご回答 ください	受けたこと がある	行ったこと がある	見聞きした ことがある
(1) 卑わいな話をする	1	1	1
(2) 「女（男）のくせに」「女（男）だから」と言う	2	2	2
(3) 身体に触れる	3	3	3
(4) 宴会でお酒やデュエットを強く勧める	4	4	4
(5) 交際を強く迫る	5	5	5
(6) 性的行為を迫る	6	6	6
(7) 性的な噂（うわさ）をたてる	7	7	7
(8) 結婚や交際について聞く	8	8	8
(9) 容姿について話題にする	9	9	9
(10) 帰宅途中などに後をつけたり、つきまとったりする	10	10	10
(11) プライバシーに関することや性的な内容を含むメッセージや手紙等を送ったり電話をする	11	11	11
(12) ノード写真や卑わいな雑誌を目につくところに置いたり、貼ったりする	12	12	12
(13) その他（ ）	13	13	13
(14) 上記のような経験は特でない	14	14	14

男女共同参画を推進するための取組についてお伺いします

問23 あなたは（1）～（18）の男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

（それぞれ1つずつに○）

横方向にご回答ください	内容を知っている	聞いたことはあるが 内容は知らない	知らない
(1) 埼玉県男女共同参画推進条例	1	2	3
(2) 埼玉県男女共同参画基本計画	1	2	3
(3) 埼玉県DV防止基本計画（配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画）	1	2	3
(4) 男女共同参画社会	1	2	3
(5) ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	1	2	3
(6) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
(7) セクシュアル・ハラスメント（性的な言動によるいやがらせ）	1	2	3
(8) DV（ドメスティック・バイオレンス／配偶者等からの暴力）	1	2	3

横方向にご回答ください	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
	(9) デートDV（交際相手からの暴力）	1	2
(10) DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）	1	2	3
(11) 育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	1	2	3
(12) 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	1	2	3
(13) 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）	1	2	3
(14) 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3
(15) クォータ制（政治分野における男女平等を実現するため、議員・閣僚の一定数を女性に割り当てる制度）	1	2	3
(16) マタニティ・ハラスメント（妊産婦に対するいやがらせ）	1	2	3
(17) パタニティ・ハラスメント（育休を取得する男性へのいやがらせ）	1	2	3
(18) LGBTQ（性的マイノリティの方を表す総称のひとつ）	1	2	3

問24 埼玉県には男女共同参画を推進するための拠点として、さいたま新都心に「埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）」があります。あなたは、この施設を利用したことはありますか。 **(1つだけに○)**

1 利用したことがある	2 利用はしていないが、知っている	3 知らない
-------------	-------------------	--------

問25 あなたは、この「With You さいたま」にどのような役割を期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

<ul style="list-style-type: none"> 1 男女共同参画に関する幅広い情報、書籍、資料等の収集・提供 2 講演会、シンポジウム、フェスティバル（活動発表、交流の場）等の企画・開催 3 女性相談窓口の機能の充実 4 男性向けの講座・相談窓口の充実 5 DV 被害者向けの相談・支援窓口の充実 6 自主的な学習活動、ボランティア団体・NPO の活動支援 7 就職講座や起業講座等による女性の就業支援 8 地域づくり、ボランティアなどチャレンジしたい女性への支援 9 同じ悩みを抱えている人へのネットワーク支援 10 いつでも誰でも立ち寄れる交流の場 11 調査・研究機能の充実 12 市町村職員向けの研修や市町村が行う活動支援の充実 13 その他（)

問26 あなたは、男女共同参画に関する情報を探すとき、どのような方法で手に入れますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------------|
| 1 インターネットの検索機能 |
| 2 自治体や国の省庁のHP |
| 3 国が発行する白書やその他公的機関の発行する資料 |
| 4 図書館や書店の書籍 |
| 5 所属する組織(学校・企業・団体等)の担当部署 |
| 6 市町村の設置している施設(公民館・男女共同参画推進センター・女性センター等) |
| 7 埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま) |
| 8 男女共同参画に関する講演会、シンポジウム等のイベント |
| 9 その他() |

問27 今後、男性も女性も、ともに社会のあらゆる分野にバランス良く積極的に参加していくためには、あなたは、どのようなことが特に必要だと思いますか。(1つだけに○)

- | |
|------------------------------------------------------|
| 1 法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること |
| 2 男女の固定的な役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること |
| 3 男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること |
| 4 子どもの時から家庭や学校で男女平等について教えること |
| 5 男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること |
| 6 男性も女性も経済力を持ったり、知識・技術の習得など、積極的に能力の向上を図ること |
| 7 就労の場の待遇に性別による差別がないようにすること |
| 8 行政や企業などの重要な役職など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること |
| 9 その他() |

あなたご自身についてお伺いします

F1 性別をお答えください。(1つだけに○)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 女性 | 2 男性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F2 あなたの年齢をお答えください。(1つだけに○)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 18~19歳 | 4 40~49歳 | 7 70歳以上 |
| 2 20~29歳 | 5 50~59歳 | |
| 3 30~39歳 | 6 60~69歳 | |

F 3 あなたの職業をお答えください。 (1つだけに○)

1 会社員・団体職員	5 専業主婦・専業主夫
2 自由業・自営業・家業	6 学生
3 パート・アルバイト	7 無職
4 公務員・教員	8 その他 ()

F 4 あなたは結婚されていますか。 ※結婚には事実婚も含めます。 (1つだけに○)

1 結婚している	2 結婚していたが、離別・死別した	3 結婚していない
→ F 4-1 へ	→ F 5 へ	

【F 4で、「1 結婚している」と回答した方に】

F 4-1 あなたの配偶者・パートナーの年齢をお答えください。 (1つだけに○)

1 18～19歳	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

F 4-2 あなたの配偶者・パートナーの職業をお答えください。 (1つだけに○)

1 会社員・団体職員	5 専業主婦・専業主夫
2 自由業・自営業・家業	6 学生
3 パート・アルバイト	7 無職
4 公務員・教員	8 その他 ()

【すべての方にうかがいます】

F 5 あなたには子どもがいますか。 (1つだけに○)

1 いる	→ F 5-1 へ	2 いない	→ F 6 へ
------	-----------	-------	---------

【F 5で、「1 いる」と回答した方に】

F 5-1 あなたの一番下のお子さんは、現在次のどれにあてはまりますか。(1つだけに○)

1 3歳未満	5 高校生
2 3歳以上就学前	6 大学生、大学院生
3 小学生	(高専、短大、専門学校を含む)
4 中学生	7 社会人

【すべての方にうかがいます】

F 6 あなたの現在の世帯構成は次のどれにあてはまりますか。 (1つだけに○)

1 単身世帯 (一人住まい)	4 3世代世帯 (親と子どもと孫)
2 1世代世帯 (夫婦のみ)	5 その他 ()
3 2世代世帯 (親と子ども)	

F 7 あなたの現在のお住まいの地域をお答えください。

(1 つだけに○)

地域名	地域に含まれる市町村名
1 南部地域	川口市、蕨市、戸田市
2 南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
3 東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
4 さいたま地域	さいたま市
5 県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
6 川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、滑川町、小川町、吉見町
7 西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
8 利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
9 北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、上里町、寄居町
10 秩父地域	秩父市、横瀬町

最後に、埼玉県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

これで調査は終了です。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。